

白井健三選手 バッハ会長へ花束贈呈！

平成28年10月21日

国際オリンピック委員会（IOC）のトーマス・バッハ会長（62）が10月21日、日体大の名誉博士号授与式に出席。谷釜了正学長から学位記を手渡され、リオデジャネイロ五輪体操男子団体金メダリストでもある当クラブOBの白井健三選手（日体大）から花束を贈られました。

IOC会長として同大の名誉博士号の授与を受けるのは初めて。バッハ会長は「多大なる光栄です。五輪運動を推進する者の代表として受け取りたい」とあいさつしました。2020年東京五輪については「リオ五輪以上にたくさんのメダルを日本が獲得してくれることを願っています。他の国でいうと問題になるので、ここだけの話ですが」と参列者500人の笑いを誘い、最後に「ガンバレ、ニッポン！！」と日本語で激励、拍手を受けました。

終了後にはキャンパス内でオリーブを記念植樹。笑顔で白井健三選手らとの記念撮影を行いました。